



仙台駅東口キャンパス

芹沢銈介の夏模様 — 布染め心染め —

令和8年7月15日(水)～8月27日(休) 休館日 月曜日

芹沢銈介美術工芸館は、東北福祉大学付属の美術館として1989年6月国見キャンパスに開館し、染色家・芹沢銈介（1895-1984）の作品や銈介が集めた世界各国の工芸品を収蔵・公開しています。

銈介は、日本の型紙を用いる伝統的染色技法で多彩な文様を創造し、1956年に「型絵染」の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

今回、仙台駅東口キャンパスにおいて展覧会を開催。風景や動植物、日常の道具、職人の姿などを題材に

した作品から、「夏」を感じさせるモチーフを中心に紹介します。代表作ののれんや着物、扇子・うちわのデザイン、型紙など80点に加え、銈介の長男・長介が収集した藍絵のそば猪口約30点を展示します。

会期中は毎日ワークショップを開催し、そば猪口の模様を描くコースター作りや、型紙を用いたうちわ・しおり作りをお楽しみいただけます。



芹沢銈介作「夏の字」1954年

▶詳細は公式ホームページをご覧ください

【入館料】 学生証の提示にて無料

【問い合わせ】 TEL022-717-3318



ホームページ



X



Instagram